

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第12回 企画・広報分科会
13年度活動報告・14年度活動計画(案)**

2014年4月25日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

松本 幸則（パナソニック R&D本部 全社CTO室 技術戦略グループ 参事）

（サブリーダー）

田畑 雅章（NTTコミュニケーションズ 第三営業本部 第十三営業担当 担当部長）

山内 正巳（KDDI ソリューション営業本部 官公庁営業部 営業3グループ リーダー）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

1. 創造系活動

- ① WG活動費を会員企業数に応じてWGに配分し、WG活動の支援を継続した。実験用機器の購入などに有効に活用していただいた。
- ② 7月に全会員向けに要望アンケートを実施。また、シンポジウム、セミナーの機会にアンケートを実施し、協議会活動への要望等を調査した。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2013「ロボティックサービスの最前線から未来へ」を開催した（12月6日、ステーションコンファレンス東京）。
- ② 総会での講演会を企画、実施した（失敗学会大澤理事による講演、6月7日）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2013において、ブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施（11月7-9日、けいはんなプラザ）。
- ④ セミナーの開催による情報提供、人材育成の実施（9月13日、9月19日、3月27日）。
- ⑤ ウェブページの改修を実施し、特に、新世代ネットワーク分科会のページの刷新と英語ページの充実により、協議会活動の一層のPR、普及・啓発活動につとめた。
- ⑥ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net等）と、共催、後援でセミナーやシンポジウムをおこなったりするなど、情報交換、交流をおこなった。
- ⑦ セミナーの際にうめきた見学会を実施するなど、地域の研究開発活動（うめきたナレッジキャピタル）との連携を進めた。

3. 整備系活動

- ① 超高精細画像伝送システムの更新を実施。
- ② 新世代通信網テストベッドJGN-Xなどのネットワーク施設整備を継続。
- ③ オープンラボ施設の利用者は1社退去したが、来年度2社増加の見込み。

2013年度の活動報告②

	2013年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年 1月	2月	3月			
企画・広報分科会	● 第11回 分科会 (3/7)											● 第12回 分科会 (3/10)				
創造系活動					WG活動支援 ● テーマ、ニーズ調査											
促進系活動	→ 総会企画準備				→ セミナー開催準備				→ シンポジウム開催準備			→ セミナー開催準備				
	→ 随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)															
整備系活動	→ けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用															
	→ JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用															
	→ 超高精細画像伝送システムの更新															
【協議会関連】	● 第13回 運営研究 部会 (4/22)		● 第12回 総会 (6/7)		● セミナー 見学会 (9/13)		● セミナー (9/19)		● けいはんな 情報通信 フェア2013 (11/7-9)		● 協議会主催 シンポジウム (12/6)		● セミナー (3/27)		● 第14回 運営研究 部会 (4/25)	
	→ 事務局打合せ、月1回程度開催															

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2013 開催結果

○日時：2013年12月6日(金) 13:30～17:10
 ○場所：ステーションコンファレンス東京(東京都千代田区)
 ○来場者数：86名(交流会は27名、アンケート回収数40)
 ○概要：大学等における基礎研究から企業における実用化開発まで、関西におけるロボットに関する最新の研究成果の一端について講演をいただいた。ATR 萩田紀博所長からは、協議会の活動に加え、高齢化社会における課題の解決におけるロボットの役割を、買い物支援ロボットなどの実例を交えて紹介いただいた。パナソニックの北野幸彦チームリーダーからは、病院内自律搬送ロボットの開発と商品化について講演いただき、病院のニーズや課題を把握することの重要性を強調された。大阪大学 石黒浩教授はご自身そっくりのアンドロイドロボットを開発されており、本人ではなくアンドロイドが講演(過去の講演をもとに事前にプログラムされたものによる再現)を行った。アンドロイドの研究を通じて人間らしさやアイデンティティの起源を明らかにされつつあることを話された。また、協議会では活動をパネル展示とデモで紹介した。来場者からは、ロボティックサービスに関する今後の研究の方向について課題解決型の手法への期待や、人間とロボットが共存する未来の社会を感じたなどの感想をいただいた。

○プログラム

テーマ:「ロボティックサービスの最前線から未来へ」

- ◆開会挨拶 丸野 進 氏 (パナソニック株式会社 理事・技監、当協議会理事、運営・研究部会長)
- ◆来賓挨拶 萩原 直彦 氏 (総務省情報通信国際戦略局技術政策課 研究推進室長)
- ◆講演1「ロボティックサービスの将来展望」
萩田 紀博 氏 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所 社会メディア総合研究所長、当協議会分科会リーダー)
- ◆講演2「病院の未来のカタチ～活躍しはじめた『人共生・自律ロボット HOSPI』」
北野 幸彦 氏 (パナソニック株式会社モノづくり本部チームリーダー)
- ◆休憩・展示見学
- ◆講演3「存在感メディアの研究」
石黒 浩 氏 (大阪大学大学院基礎工学研究科特別教授)
- ◆閉会挨拶 笠木 繁樹 氏 (総務省近畿総合通信局 情報通信部長)
- ◆展示・交流会



開会挨拶：丸野 進氏



来賓挨拶：萩原 直彦氏



各ワーキンググループ
 会員企業・関連団体の
 ポスター展示



講演1：萩田 紀博氏



講演2：北野 幸彦氏



講演3：石黒 浩氏のアンドロイド



閉会挨拶：笠木 繁樹氏

ICT Advanced Seminar ～“うめきた”から発信するICT先端技術～ 開催結果

○日時：2013年9月13日(金) 13:30～16:30
○場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーB 10階
○来場者数：69名(アンケート回収数34)
○概要：
「うめきた”から発信するICT先端技術」と題し、2013年4月に開業したナレッジキャピタルにて、総務省のICT研究開発政策とうめきたでの研究開発についてのセミナーを、近畿総合通信局、NICT、AC-Netとの共催でおこないました。セミナーの前後に、NICTうめきた超臨場感・超高速ネットワーク実験施設や大阪大学VisLab Osaka、NICT200インチ裸眼立体ディスプレイの見学会を催し、うめきたでの研究開発の現場や成果をご覧いただきました。全体を通じて、うめきたでの研究のチャレンジを理解できた、もっと深い内容を聞きたいなどの感想をいただきました。

○プログラム

開会挨拶・主催者挨拶 13:30～13:40
総務省近畿総合通信局長 金谷 学 氏

講演1 13:40～14:30
「総務省のICT研究開発動向」
総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室長
荻原 直彦 氏

講演2 14:30～15:20
「うめきたで展開する新しい研究開発手法」
大阪大学サイバーメディアセンター教授 (サイバー関西プロジェクト会長)
下條 真司 氏

休憩 15:20～15:35

講演3 15:35～16:25
「超臨場感コミュニケーションのための裸眼立体映像システム
～うめきたにおける実証実験の取り組み～」
独立行政法人情報通信研究機構
超臨場感映像研究室 副室長 奥井 誠人 氏



主催者開会挨拶：金谷学氏



講演1：荻原直彦氏



講演2：下條真司氏



講演3：奥井誠人氏



見学会の様子

異分野融合ワークショップ 『手話・社会・技術』

- 双方向4K超高精細映像伝送を用いた手話 - 開催結果

○日時： 2013年9月19日(木) 10:15~12:30

○場所： (大阪会場) グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 北館2階 ACTIVE Studio (東京会場) 国立情報学研究所

○プログラム:

(ワークショップ1) 10:15-11:15

「手話言語法と手話コーパスの接点」

～ 地域の手話指導に必要な手話言語資源 ～

西滝 憲彦 (全日本ろうあ連盟)

大杉 豊 (筑波技術大学)

(ワークショップ2) 11:25-12:30

「手話コミュニティと超高精細映像の接点」

荒川 佳樹 (情報通信研究機構)

黒田 知宏 (京都大学)

坊農 真弓 (国立情報学研究所)

○来場者数： 55名 (大阪会場 40名、東京会場 15名)

○アンケート回収数： 33名 (大阪会場)

○テレビ放送:

本ワークショップ(大阪会場)の様子が以下の番組で

10月5日(土)8:00-8:30、10月8日(火)8:30-9:00に放送されました。

KBS京都テレビ「目で聴くテレビ 異分野融合ワークショップ 『手話・社会・技術』 -双方向4K超高精細映像転送を用いた手話-」

○概要:

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会と異分野融合プロジェクト(代表者:坊農真弓)は共同で、「異分野融合ワークショップ 『手話・社会・技術』 - 双方向4K超高精細映像伝送を用いた手話 - 」を開催しました。国立情報学研究所(東京一ツ橋)と大阪うめきたをSINET/JGN-X結合ネットワークで接続し、NICTの双方向4K超高精細映像伝送システムを用いて、遠隔地間で、手話で講演・議論ができる環境を構築しました。本ワークショップは、『手話・社会・技術』に焦点をあて、手話を日常言語とする人々、手話を研究する人々、最先端の技術を作る人々が対等に、講演と活発に議論を、遠隔地間で4K映像伝送を介して行いました。今回のワークショップを通じて、4K映像伝送が持つ「奥行き感(3D感)」が、遠隔地間手話コミュニケーションの質を飛躍的に向上することができ、高い実用性を有することが実証されました。



大阪会場の様子

ICT Advanced Seminar ～減災に貢献するICT先端技術～ 開催結果

○日時：2014年3月27日(木) 13:40～16:30
○場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーB 10階
○来場者数：69名(アンケート回収数41)
○主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会、
総務省近畿総合通信局、情報通信技術研究会(AC・Net)
○概要：
ICT利活用(レーダー技術)による気象災害軽減の取り組みを紹介することにより、最新の技術やサービスの利用促進を図るとともに、一層のICT普及促進に資することを目的として開催しました。終了後には、NICT200インチ裸眼立体ディスプレイの見学会も催し、うめきたでの研究開発の現場や成果をご覧いただきました。全体を通じて、わかりやすい説明であった、レーダー技術の最先端の状況が分かったなどの感想をいただきました。



主催者開会挨拶：丸野進氏



講演1：石原正仁氏



講演2：牛尾知雄氏



講演3：川村誠治氏

○プログラム

開会挨拶・主催者挨拶

当協議会理事、運営・研究部会長 丸野 進 氏

講演1

「リモートセンシング技術を活用した最先端の気象観測への期待」

京都大学 学際融合教育研究推進センター

極端気象適応社会教育ユニット 特定准教授 石原 正仁 氏

講演2

「世界最先端を行く気象用フェーズドアレイレーダーの開発」

大阪大学 大学院工学研究科

電気電子情報工学専攻 准教授 牛尾 知雄 氏

講演3

「NICTにおける最新のレーダー開発～次世代ウインドプロファイラを中心に～」

情報通信研究機構 電磁波計測研究所

センシングシステム研究室 主任研究員 川村 誠治 氏



会場の様子

新世代ネットワーク分科会のウェブページのリニューアル

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
新世代ネットワーク分科会

日本語

English

[お問い合わせはこちら](#)

相互接続性検証WG

フォトニック準備WG



新世代ネットワークの実現



新着情報

[詳しく見る](#)

2013/12/13

[第27回光通信システムシンポジウムにて、相互接続活動を展示紹介](#)
(相互接続性検証WG)

2013/6/6

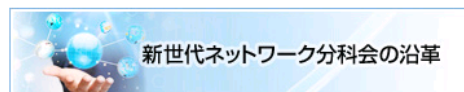
[国際会議IPOP2013にて、WG活動の展示紹介を実施](#)
(相互接続性検証WG)

2012/11/6

[山中教授による新刊「スマートネットワークの未来」が発売](#)
(相互接続性検証WG)

新世代ネットワーク分科会の活動概要

新世代ネットワークの実現に向けた課題を解決するため、各レイヤにまたがるネットワーク関連技術の研究開発を推進し、日本発の技術を創出し、国際標準に提案し、我が国の国際競争力の確保を目指す。2本のプロジェクトが進行中(2013年現在)



新世代ネットワーク分科会の沿革



相互接続性検証WG



フォトニック準備WG

Copyright © Research Promotion Council of Keihanna Info-Communication Open Laboratory.

Info-Communication Open Laboratory
Network Subcommittee

Japanese

English

[CONTACT](#)

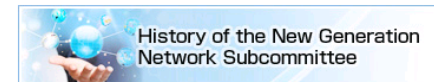
相互接続性検証WG

Photonic preliminary WG



Activity Summary of the New Generation Network Subcommittee

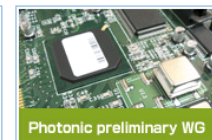
Promote research and development of the network related technologies across each layer to solve issues toward establishment of the New Generation network, develop made-in-Japan technologies, and propose them as international standards to ensure our international competitiveness. Two projects are in progress (as of 2013)



History of the New Generation Network Subcommittee



Interoperability WG



Photonic preliminary WG

・日刊工業新聞2013年12月3日

けいはんな情報通信推進協 東京でシンポジウム

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会（松下正幸理事長、パナソニック副会長）は、6日13時半からステーション・コンファレンス東京（東京都千代田区）で同協議会のロボットなどの最近の取り組みや研究成果を紹介するシンポジウムを開く。定員100人。参加無料（交流会費2000円）。ロボティックサービスの将来展望や病院で活躍する自立移動による搬送ロボット、石黒浩大阪大学教授が開発した知能ロボットによる講演などを行う。問い合わせは同会事務局（0774・98・6806）へ。

・第12回総会・講演会2013年6月7日



1. 創造系活動

- ① WG活動費によるWG活動の支援を継続。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査の実施。
- ③ 協議会体制について検討。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2014の開催（11月～12月予定）。
- ② 総会において、講演会を企画（5月29日予定）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2014において、研究活動紹介、広報活動（11月6日～8日予定、けいはんな）。
- ④ セミナー、見学会などの開催による情報提供、人材育成の実施。
- ⑤ ウェブページを活用した協議会活動の一層のPRや広報・啓発活動の強化。
- ⑥ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net、次世代安心・安全ICTフォーラム等）との交流・連携促進。
- ⑦ 地域の研究開発活動との連携強化（うめきたナレッジキャピタル、けいはんなオープンイノベーション拠点、けいはんなエコシティ推進会議等）。

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けたPR、広報の実施。

2014年度の活動計画②

	2014年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第12回 分科会 (3/10)									● 第13回 分科会 (3月頃)			
創造系活動	→												
	WG活動支援												
促進系活動	→												
	ニーズ調査、テーマ検討、体制整備												
整備系活動	→												
	随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)												
【協議会関連】	→												
	けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用												
【協議会関連】	→												
	JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用												
【協議会関連】	→												
	事務局打合せ、月1回程度開催												
【協議会関連】	● 第14回 運営研究 部会 (4/25)	● 第13回 総会 (5/29)		● セミナー (9月ころ)			● けいはんな 情報通信 フェア2014 (11/6-8)	● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)	● セミナー (2月ころ)		● 第15回 運営研究 部会 (4月頃)		